

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

①授業計画書の作成・公表に係る取組の概要

(柔道整復学科 昼間部 (3年制)、柔道整復学科 夜間部 (3年制)、
鍼灸学科 昼間部 (3年制) 鍼灸学科 夜間部 (3年制))

- ・授業計画(以下、シラバス)の作成について
各科目のシラバスに一般目標(GIO)、行動目標(SBO)を設定・記載し、各目標に則した科目概要及びコマシラバスが確認できるレイアウトとしている。また、成績評価割合についても評価方法及びその割合を明示している。上記シラバスを昼/夜間部、各学科、各学年に分けて冊子とし学生に配布している。
- ・シラバスの公表について
翌年度の講義予定(授業計画)は12月から担当教員が作成し、2月の教務委員会で正式に決定する。
学校HP上にシラバス閲覧ページを設けており、閲覧したい学科、学年のシラバスを選択するとPDFデータが閲覧できる。

②授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要

- ・各科目の試験作成時において、毎年各学科、実技/講義科目ごとに試験実施要項を作成、配信することで試験作成内容の適正化、明確化に努めている。また、筆記試験においては教務確認+学科確認を欠かさず行い、誤植防止や難易度の平準化を図っている。実技試験においては事前に試験内容を担当教員に提出いただき、内容、及び試験評価基準の明確化を図っている。
- ・学生は各年度初めに配布される学生便覧で成績評価基準について確認することができる。また、シラバスでは各科目の成績評価内容及び割合を確認することができる。
- ・尚、授業科目の講義数のうち、出席が2/3以下の学生については、その成績評価の対象としない。

③客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要

- ・各学期末の試験終了後に各科目の評価を確定し、GPAを算出している。
当校では各授業の評価を100点満点とし、100~90をAA、80~89をA、70~79をB、60~69をC、0~59をDとして最終評価を行う。
GPAの算出はAAを4点、Aを3点、Bを2点、Cを1点、Dを0点に置き換え、AAの授業数×4+Aの授業数×3+Bの授業数×2+Cの授業数×1の合計を履修済みの総授業数で除した数として求める。
- ・成績結果は各学生へ各学期末に成績表送付をもって公表している。また、成績一覧及びGPA分布を各学年担任及び学科会議内で共有することで、学生の知識習得状況の把握できる環境を整えている。また、その情報をもとに学生への面談や各種補講を都度実施することで、学習状況の改善に努めている。

④卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要

- ・日本医学柔整鍼灸専門学校は「自ら考え行動する医療人」として学生自らが興味をもって自発的に学習し、人々から信頼される医療人として相応しい知識・技能・態度を身に付けた者に卒業を認定し、専門士を授与する。
- ・卒業要件については、開講される全ての単位を修得する事により、本校所定の課程を全て修了した者とし、卒業証書を授与する。
卒業認定にあたっては3年次最終定期試験終了後、卒業判定会議にて最終単位取得状況を確認し、厳格な審査の上で認定している。